

## 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	OTAR-I ターンプロジェクト
事業主体 (連絡先)	小谷村 0261-82-2589
事業区分	④安心・安全な地域づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,146,754 円 (うち支援金 : 776,000 円)

### 事業内容

人口減少が深刻化している小谷村において、人口の社会増減の減少幅を縮小させるため、今回の事業では村外から新たに移住定住をする I ターン者の増加に目的を定め、第 1 に小谷村を知り、興味をもってもらう人を増やすために、小谷村の「雪のある暖かい暮らし」をイメージできる統一デザインを作成し、フェア等で移住PRを行った。第 2 に小谷村に興味を持った人に対して、実際の暮らしを体験できる機会を提供し、また、移住総合窓口を設置することで、今後より総合的な移住サポートを行っていく予定である。最後に、移住後に安心して暮らせる環境を提供するため、移住者のニーズ調査を行った。来年度以降の移住施策に活かしていく予定である。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① フェア等で小谷村ブースへ 33 組が立ち寄り、さらに興味を持ち、実際に来村する人が増えた。  
(来村者 5 組 内移住予定者 3 組が移住)
- ② 年 4 回で開催をした田舎暮らしツアーでは、累計 48 名が参加し、リピーターとなる参加者も増え、移住への意欲が高まっているように感じた。  
(参加者の内、移住予定者 1 組)
- ③ 移住者・移住希望者合計で 65 名からのアンケートを取得し、さまざまなニーズを把握できた。
- ④ 今年度、移住フェアでの移住相談や役場での移住相談件数が 55 件と増加し、そのうち 6 組が移住した。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今年度、平成 28 年度国庫補助事業で整備した移住おためし住宅は、旅館業の許可申請がおりてからの運用となるため、来年度 4 月を目途に運用を開始する予定である。移住おためし住宅には、相談窓口を併設し、移住希望者の相談を始め、移住希望者も移住した人も気軽に訪れる場作りと進め、交流を図るとともに移住後も相談にいける環境作りを進めていく予定である。また、来年度も継続して、移住フェア等へ参加する予定だが、その中でも今回の事業によって得られた移住者のニーズを満たすために、「住まい」と「仕事」に重点をおいて移住施策を進め、移住希望者がほしい情報を得られる環境づくりを進めていく予定である。また、田舎暮らし体験も継続して行っていくが、小谷村への移住を具体的に検討している人も増えてきていることから、より移住に根ざしたツアー（空き家見学や教育機関の見学など）を来年度は並行して行う予定である。



【移住フェアの様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 小谷村を知り、興味を持つ人の増加
- ② 小谷村の生活環境を伝える場作り
- ③ 移住者ニーズを把握し、より効果的な施策を行う
- ④ 移住者の増加

### ※自己評価【B】

【理由】移住希望者の掘り起こしから移住に至るまでを段階的にかつ総合的にフォローをすることで、小谷村での移住者および移住希望者を増加させることができた。